

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名 (桜川地区被害者支援連絡協議会運営事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 事務事業No. (030201000696), 所属課 (030301), 生活環境課, 防犯及び消費生活対策の推進, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業, 事業期間 (単年度繰返し), 防犯対策事業.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main sections: ①事務事業の概要 (市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、犯罪被害に遭われた方々の現状を広く理解してもらえよう周知するとともに、関係機関との連携を図る。被害者を支援する直接的支援 (診断書料の助成) を行う。) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (桜川地区被害者支援連絡協議会負担金の請求と納付、被害者週間にキャンペーンと広報を実施する、犯罪被害者に診断書料を助成する、被害者支援員の養成講座の受講生に受講料を援助する、総会の開催、市民への被害者支援広報、いのちの講演会 (平成30年度岩瀬西中学校で開催))

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 3 main sections: ①手段 (担当者の活動内容) with indicators for 活動指標 (活動量を表す指標) such as 広報回数; ②対象 (誰、何を対象にしているのか) with indicators for 対象指標 (対象の大きさを表す指標) such as 人口 and 被害者数; ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) with indicators for 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) such as 啓発品配布数 and 被害者の割合.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), and 正規職員従事人数.

30年度事業費実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table comparing 30年度実績 (50) and 01年度予算 (50) for 19 負担金補助及び交付金. Includes a 合計 row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	桜川地区被害者支援連絡協議会運営事業	事務事業No.	30201000696	所属課	生活環境課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年12月に犯罪被害者基本法が制定され、地方公共団体の責務が明らかになった。</li> <li>桜川市では、平成18年12月に犯罪被害者の置かれる状況を、広く市民へ周知と関係課との連携を図るために、被害者支援連絡協議会を設立した。</li> <li>平成21年度に相談窓口を一覧にした被害者支援ハンドブックを作成した。</li> </ul>
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月26日に県警本部長より、県内で初となる表彰を桜川地区被害者支援連絡協議会が受賞する。</li> <li>犯罪被害者を講師に招いた「いのちの講演会」を毎年開催しており、学校からも命の大切さを学ぶ教育の場として期待されている。</li> </ul>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 犯罪被害に遭われた方の心身の安全を図ることは、総合計画の「快適で潤いのある環境づくり」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 犯罪被害に遭われた方の心身の安全と、被害者になった場合の実態などを市民に対して周知することは妥当である、
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 直接的支援は被害に遭った方の診断書料の補助であるので、該当する被害者が出ないことが望ましいので向上の余地はない。一般市民向けの広報啓発の充実を図っている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止することは、犯罪被害者基本法で定められた地方公共団体の責務を果たせなくなる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はないため、統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 直接支援の診断書料補助が少ないので、負担金を下げれば削減は可能だが、キャンペーンなどの啓発活動を実施するため削減の余地がない。事業は桜川警察署と連携をとって行っているため、削減の余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 犯罪被害者を支援することは、市民全員に受益機関があるので公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成30年度は、岩瀬西中学校生及び保護者を対象に、命の大切さ・被害者支援についての「いのちの講演会」を開催した。また、犯罪被害者週間に合わせ、街頭キャンペーンを実施した。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特に課題は見受けられない。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下		○															
(6) 事務事業優先度評価結果																		
成果優先度評価結果	⑧																	
コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>